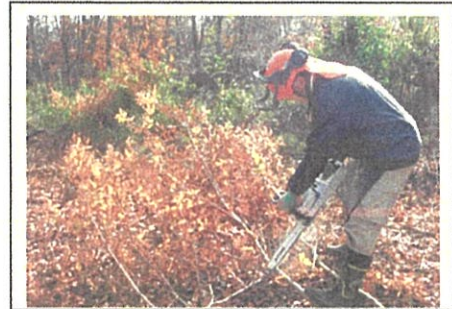


平成30年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	炭焼き父さん活き生き事業
事業主体 (連絡先)	お父さん頑張る会
事業区分	(5) 環境保全、景観形成に関する事業
事業タイプ	ソフト・ハード
総事業費	987,450 円 (うち支援金: 658,000 円)

事業内容

- ◆ 里山整備
作業のための機材を整備し、地域住民や農業者との協働により里山整備や農地周辺の支障木伐採作業を実施
- ◆ 炭焼作業
伐採した木材を有効活用するための炭焼作業
- ◆ 都市住民との炭焼き体験交流、炭焼き文化のPR発信
大学との交流事業として、炭焼き体験を実施、村と連携した団体活動のPRを実施
 - 相模女子大学冬期地域協働活動
 - その他 村内小学生との炭焼き体験
 - 村内直売所にて、団体活動を情報発信実施



【支障木伐採作業】

【目標・ねらい】

- ① 村内の集落周辺の支障木伐採など環境保全活動
- ② 地域に伝わる炭焼文化の伝統継承や地域の活性化の推進

※自己評価【A】

【理由】

取り組みを通じて、会の活性化につながり、取り組みをPRすることが出来た。

事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

伐採作業により発生する竹や木材を利用した炭焼を行い、木炭・竹炭、木酢液・竹酢液を生産することで資源の有効活用を図ることが出来た。

都市住民との交流事業を通じて、農村での生活を体験してもらい、村の魅力を感じてもらうことが出来た。

当団体は、70代から80代にかけての高齢者が中心となる構成で活動してきたが、会員の減少や活動負担等の課題の中で、本事業を通じて、目標をもって取り組みを行うことで、団体の活動意識が高まり、活動の活発化による会員加入の推進や継続意欲の増進につながった。

今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

今後も、継続して取り組みを行い、地域貢献を通じた生きがい活動を活発に実施していく。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。
 「A」：予定を上回る効果が得られた 「B」：予定していた効果が得られた
 「C」：一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある